

学校法人

# きのくに子どもの村 秋の教育シンポジウム 2023 ～戦後日本の学校教育を考える～



きのくに子どもの村学園は、和歌山県橋本市で誕生した私立学校です。宿題も試験もなく、先生とよばれる大人はいません。かわりにあるのは、「プロジェクト」と呼ばれる体験学習によって編成される縦割り学級、子どもも大人も同じ一票をもつ「ミーティング」、そしておやつの時間！ 子どもも大人もとっても元気です。忙しく、いろいろなことに挑戦しています。そんなきのくに子どもの村はどういった背景でできたのでしょうか。

戦後、日本の教育は大きく変わってきました。子どもの「学びたいことを学ぶ権利」は、今や「学ぶべきことを学ばされる義務」に変わってきてしまいました。3人の教育研究者をお招きして、教育はこれからどのようにあるべきか、提言をいただきます。

参加無料

事前のお申し込みを  
おねがいします。

2023年11月25日(土)

13:00～16:45(受付 12:30)

きのくに子どもの村学園

20周年ホール

13:00～

＜基調講演＞ 滝内 大三 (大阪経済大学名誉教授,きのくに子どもの村学園理事)

「私の戦後日本教育史論」

14:50～

＜討論＞ 進行役 堀 真一郎 (きのくに子どもの村 学園長)

滝内 大三 (大阪経済大学名誉教授,きのくに子どもの村学園理事)

西郷 孝彦 (桜ヶ丘中学校前校長)

桜井 智恵子 (関西学院大学教授,きのくに子どもの村学園理事)

10:00～

映画『夢みる小学校』

上映会も同日開催！

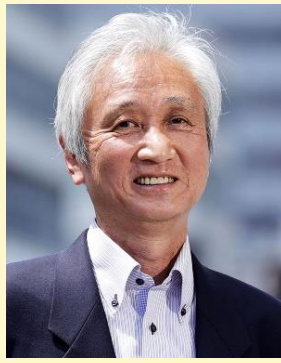
※ご覧になれるかたは  
昼食はご持参ください

# シンポジストのプロフィール



たきうちだいそ  
滝内大三さん

京都市生まれ。教育学者、大阪経済大学名誉教授。京都大学大学院教育学研究科修了。きのくに子どもの村学園の開校当初から役員として関わる。中学校初年度の社会科を担当。現在、きのくに子どもの村学園理事。主著：『イングランド女子教育史研究』、『個性教育の創造』、『未完の教育学者』など。



さいごうたかひこ  
西郷孝彦さん

横浜生まれ。2010年より10年間、世田谷区立桜丘中学校長に就任し、インクルーシブ教育を学校経営の中心に据え、校則や定期テストの廃止、ICTの活用、個性を伸ばす教育を推進した。  
著書：『校則なくした中学校 たったひとつの校長ルール』、『「過干渉」をやめたら子供は伸びる』など。



さくらい ちえこ  
桜井智恵子さん

関西学院大学教授。専門は教育学、思想史。フィリピン大学などを経て、大阪市立大学大学院・堀真一郎ゼミで学ぶ。川西市子どもの人権オンブズパーソン代表などを経験。著書に『教育は社会をどう変えたのかー個人化をもたらすリベリズムの暴力』、『子どもの声を社会へー子どもオンブズの挑戦』。共著で『自立へ追い立てられる社会』など。



ほりしんいちろう  
学園長 堀真一郎

福井県出身。京都大学院博士課程中退。元大阪市立大学教授。ニール研究会代表。著書：『自由学校の設計』、『体験学習で学校を変える』、『自由教育の名言に学ぶ』など



## 夢みる小学校

監督：オオタ ヴィン

「ミライの公教育がここにある。」  
ひとりひとりの個性を大切に  
子どもファーストな3つの学校が登場。  
希望あふれる“ミライの教育ドキュメンタリー”

文部科学省選定映画(令和3年12月20日)

## お申込み・お問い合わせ

Tel: 0736-33-3370

Fax: 0736-33-3043

Email: [info@kinokuni.ac.jp](mailto:info@kinokuni.ac.jp)



11月22日までに、  
お電話・メール・QRコードからお申し込みください。

## 会場

学校法人 きのくに子どもの村学園  
〒648-0035 和歌山県橋本市彦谷51

## 送迎バス

(無料)

南海高野線 橋本駅 9:10 発

12:10 発

きのくに子どもの村学園

17:00 発

検温、マスク着用など、学園の感染症対策へのご協力をお願いします。